

笑顔と輝きに満ちた谷原中		平成22年 4月12日
	やわらの杜	練馬区立谷原中学校
URL http://www.yawara-j.nerima-tky.ed.jp/		第1号 校長 前田 光 男

4月1日よりお世話になります校長の前田光男です。よろしくお願いします。

校長 前田光男

この度、上村文輝前校長の後任として昇任で赴任してきました前田光男です。前任校は中野区立第九中学校です。教員となってから、長い期間下町地区の中学校に勤めてきました。中野区は副校長で4年9ヶ月お世話になりました。特に中野区立第九中学校は中野駅に近くなかのゼロホールのとりにあり、繁華街に近い場所にありました。この谷原中学校は緑に囲まれ素晴らしい環境に恵まれていると感じています。4月6日の始業式で初めて本校の生徒と対面しましたが、たいへん素直で明るいというのが第一印象です。



簡単に自己紹介させていただきますと、教員の振り出しは江東区で6年、足立区で11年、台東区で7年3ヶ月、中野区で4年9ヶ月と勤務してきました。教科は理科です。得意なものはラーメンづくりです。

本校のモットーとする「人を思いやる心を育て、正義感や公正さを重んじ、行動力のある若者」を育てることに、上村文輝前校長の学校経営方針を受け継ぎ、さらに発展させるよう、誠心誠意動力をしますのでよろしくお願いします。

ご入学おめでとございます。

4月7日（水）に平成22年度入学式をおこないました。新一年生は男子40名女子49名計89名を迎えてのスタートです。これから始まる中学校生活は2・3年生の先輩に出逢う大切な時期です。この先輩や教職員との出逢いはこれからの人生を大きく変えるかもしれません。詩人で書道家の相田みつをさんの言葉に「その時の出逢いが、人生を根底から、変えるときがある。よき出逢いを」があります。この谷原中学校での出逢いを大切にしてください。

	男 子	女 子	合 計
1年A組	13	16	29
1年B組	13	16	29
1年C組	13	16	29
1年F組	1	1	2
合 計	40	49	89



平成22年度 入学式学校長式辞

練馬区立谷原中学校長 前田光男

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ただ今元気よく返事をした89名の皆さんは、本日より練馬区立谷原中学校の生徒です。在校生ならびに教職員一同、皆様のご入学を心から歓迎いたします。

本校は都内にあって緑に囲まれた、すばらしい環境で、落ち着いた学校です。昭和52年に開校され「地域に根ざした学校」として歴史と伝統をもち、多くの卒業生、地域の方々に愛されてきた学校です。今谷原中学校は生徒にとって「誇れる谷原中」、保護者、地域の方々に「入学させてよかった学校」信頼される学校づくりを目指しています。

本校のモットーとするところは、「人を思いやる心を育て、正義感や公正さを重んじ、行動力のある若者」を育てることにあります。どうか皆さんも谷原中学校の生徒になったことに誇りをもち、のびのびと明るい学校生活を送ってください。

お話しの最後に、ある彫刻家の話を紹介したいと思います。百二歳の高齢でなくなった北村西望（きたむらにしも）という有名な彫刻家がありました。北村氏が、長崎の平和祈念像を製作している時のことです。ある晩、像の足元にいたカタツムリが、翌朝見ると、何と九メートルもある像の天辺に登っていた。北村氏は、小さな生き物の懸命な姿に感動して、少しずつでも進み続けることは素晴らしい、人間もまた同じだと感動して、次のような句を詠みました。

「たゆまざる 歩みはおそし カタツムリ」

北村氏はこの句について、次のように言っています。「私はこの言葉が大好きである。いつの間にか百歳になったが、自分の足跡のように思えてならない。百歳と一口で言えば簡単だが、自分の前半生は苦節の幾星霜（いくせいそう）だった。しかし、今思えばすべてが懐かしい思い出ばかりである。」と、そして、「私は二人のすばらしい友人に恵まれた。二人とも彫刻の天才だった。私は二人にはかなわなかった。二人のあとについていくのがやっとであり、嫌でも私は勉強せざるを得なかった。」

この話しは、努力し続けることがいかに大切かを教えています。いかなる時でも少しずつでも歩いていけば、目的地に到着できる。当たり前ですが、止まってしまうと、絶対に前には行けない。動いていけば、少しずつでも前進できる。いかなる分野であれ、一事に精通し、また、社会の一隅を照らしゆく何らかの貢献を果たした人は、共通した道を歩んでいるのです。それは、たえざる精進を忘れない「努力の道」であります。

「努力」を続けることは、決して楽ではありません。しかし、「努力」した人には、「勝利」が待っています。その意味で「努力」は嘘をつかない。正直であるともいえます。新入生の皆さん、夢の実現のために、努力の道へ、希望の第一歩を踏み出しましょう。

「たゆまざる 歩みはおそし カタツムリ」

保護者の皆様に申し上げます。お子様のご入学まことにありがとうございます。

本校は教育目標に、よく考え、正しく行動できる人、心身ともに健康な人、思いやりと協調性のある人、勤労と責任を重んじる人 の四つを掲げ、私ども教職員一同生徒の健やかな成長のために全力を尽くして頑張っております。どうか今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本日、大変お忙しい中、ご臨席賜りました、多くの、ご来賓の皆様は、厚くお礼を申し上げ、学校長式辞と致します。

笑顔と輝きに満ちた谷原中  やわらの杜 URL http://www.yawara-j.nerima-tky.ed.jp/	平成22年 4月17日 練馬区立谷原中学校 第2号 校長 前田 光 男
--	---

平成22年度 教職員のご退職、転出、転入のお知らせ

入学式から早10日を数え、新一年生はまだ緊張感がみられますが、本校も新年度を順調にスタートしております。

長く本校に御尽力を頂きました教職員がこのたびの定期異動でご退職あるいは他校へ転勤となりました方を、ご紹介をさせていただきます。

個人情報につき、
掲載を差し控え
させていただきます。

平成22年度 教職員担当一覧

個人情報につき、
掲載を差し控え
させていただきます。

笑顔と輝きに満ちた谷原中



やわらの杜

URL <http://www.yawara-j.nerima-tky.ed.jp/>

平成22年 4月27日

練馬区立谷原中学校

第3号
校長 前田 光 男

入学式での「歓迎の言葉」と「決意の言葉」の紹介

4月7日(水)に行われた入学式での、在校生からの歓迎の言葉と新入生からの決意の言葉をご紹介します。



歓迎の言葉

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは今、中学校生活に対する期待とともに不安も大きい事と思います。僕も二年前皆さんと同じ席に座しているときは、周りの環境が一気に変わる事への不安がすごく大きかったです。しかし、不安なのはみんな一緒です。一人でその不安を抱え込むのではなく、みんなで助け合っていく事で、その不安も解消されると思います。

さて、皆さんは小学校と中学校の一番の違いは何だと思いますか。勉強や部活動など、学校生活を送る中で色々な事が変わると思います。しかし、何よりも大きく変わるのは人間関係です。中学校は、小学校に比べて先輩や友達との接点が多くなります。部活動や委員会などに入ると、さらにおおくなっていくでしょう。上級生や友達から学ぶことはいっぱいあると思います。最初のうちは、先輩と話すのも少し緊張すると思いますが、優しく接してくれる事と思います。だから、悩み事やわからない事ができたら、先輩に聞けばきっと解決でき、自分を取り巻く輪がもっと広がる事でしょう。そしてこの輪を広げる事で、自分の行動できる範囲や視野が大きく変わる事と思います。

また、中学校では授業のシステムが少し小学校の時と違います。中学校では教科が九教科になり、それぞれ先生が変わります。そして定期テストがあります。テスト勉強は大変ですが、そのテストで良い点がとれるように頑張りましょう。

みなさんは今、部活動の事はすでに考えていますか。中学校では部活動が三分の一位を占めます。それほど長い時間を費やすこともあり、大変になる事も多々あると思いますが、同じ部活動の仲間と共に過ごす時間はかけがえのない時間となっていく事でしょう。後日行われるオリエンテーションを参考にして実際に体験入部して考えるのも良いと思います。どの部活動もそれぞれの目標に向かって頑張っているのです、ぜひ入部してください。

谷原中学校では、ほとんどの行事が生徒によって行われます。その中心となるのが様々な委員会です。委員会は全部で五つあり、それにプラス生徒会役員の六つでこの谷原中学校を動かしています。その六つのうち、どれが欠けてもいけないので、責任のある活動が必要となります。委員会では学べる事もたくさんあると思います。新入生の皆さんと在校生の僕達と力を合わせて、より良い谷原中学校を作っていきます。

これから谷原中のスローガンである「信頼あふれる谷原中」を、僕達と共に作りあげて、楽しく充実した学校生活を送っていきましょう。



新入生に向かって
歓迎の言葉

校長に向かって
決意の言葉



決意の言葉

桜を迎えられた今日、私たちは、この谷原中学校の生徒になれることをとてもうれしく思っています。私は、この新しい制服を着てこれから始まる中学校生活に大きな期待を持っています。その反面新たに始まる部活動や難しくなる勉強についていけるかなど、たくさんの不安や緊張でいっぱいです。でもこういう時こそ小学校生活で学んだことを生かさなければ、と思いました。

中学校では小学校と違い中学生である自覚を持って行動しなければいけないと思います。ですから、私たちは中学校生活での三年間を精一杯取り組んでいきたいと思っています。

私は新しい友達や先輩、先生方との出逢いがとても楽しみです。小学校で校長先生に「人は一人では生きていけない。みんなで支え合って生きている」と言う言葉をいただき、人と人が支え合うことの大切さを学びました。その言葉を中学校でも大切にしていきたいです。

そのために最も重要なことは、感謝をするということだと思います。これは小学校の頃から大切だと思い、たくさんの人にその気持ちを伝えてきました。中学校生活でも感謝の気持ちを大切に過ごしていきます。

私たちはもう中学生です。少し前までランドセルを背負っていた小学生とは違います。その頃は、中学生になる事があがれでした。今、この制服を着て大人になったと実感しています。今までは、助けてもらってばかりでした。これからは、協力し合い、助け合い、支え合っていきたいと思っています。そして多くのことを学び、新たに多くの発見をしていきたいです。この三年間を大切にみんなで築きあげたいです。そして、先輩方が築きあげてきた谷原中学校の伝統を学び、さらに発展させられるように努力していきたいと思っています。これから初めて経験するたくさんのことに戸惑ったり、迷うこともあると思いますが、校長先生をはじめ、先生方先輩方の温かいご指導を頂きながら立派な谷原中学校生となれる様、精一杯努力することを決意します。